

放射線科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	放射線治療計画立案時における自動輪郭描出機能の有用性評価
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 中央放射線部 (職名) 技師長 (氏名) 金田 直樹
研究の対象となる方	2020年9月から研究実施承認日までに放射線治療を受けた患者さん (治療部位は頭部から骨盤部に限定)
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年09月30日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>放射線治療計画立案のためには CT 画像より臓器の輪郭を描出する必要があります。放射線腫瘍医が手動で臓器輪郭の描出を行いますが、機械学習された人工知能による自動輪郭描出機能が発展しています。自動輪郭の正確性および臨床的有用性を検証します。</p> <p>[利用方法]</p> <p>過去の放射線治療計画立案に使用された CT 画像を取得し、機械学習された人工知能による臓器自動輪郭描出(自動輪郭)を行います。放射線腫瘍医が放射線治療計画立案のために手動で描出した臓器輪郭(手動輪郭)を比較臓器輪郭として用います。</p> <p>放射線腫瘍医が描出した手動輪郭と自動輪郭の類似性を評価します。類似性の指標は、様々な専門分野で広く使用されている統計量(ダイス指数)を用います。</p> <p>また、自動輪郭が臨床利用可能かどうかを放射線腫瘍医によって4段階の評価(臨床利用可能/軽微な修正が必要/大幅な修正が必要/臨床利用不可)を行います。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	情報: 診療情報から年齢、性別、疾患名、CT画像等を取得します。
提供する試料・情報	非該当

を用いる学外の研究責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年10月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 中央放射線部 担当者：(職名) 診療放射線技師 (氏名) 南 佳孝 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 39707)